

様式第 1 4 号（第 5 条関係）

令和 6 年 4 月 1 日

笠岡市長 殿

所 在 地	笠岡市吉田 2 1 6 9 - 3		
協 議 会 名	吉田地区まちづくり協議会		
協 議 会 長 名	会長	廣井滋季	
まちづくり計画策定状況：			
	策定済み	✓	未策定

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）交付申請書

笠岡市魅力あるまちづくり交付金の交付を受けたいので、笠岡市魅力あるまちづくり交付金交付要綱第 5 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 交付申請額 175,000 円

〔内訳〕 (単位：円)

活動N o (優先順位)	活動名	インフラ上 限加算対象	申請額
1	道路花壇の維持による環境美化活動		121,000
2	吉田マッププロジェクト		54,000
			0
			0
			0
			0

【添付書類】

- (1) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書（様式第 1 5 号）
- (2) 笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書（様式第 1 6 号）
- (3) まちづくり計画（地域計画）などの計画書類（既に策定済みの地域のみ）
- (4) その他参考となる書類

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	道路花壇の維持による環境美化活動

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	地区内道路に設置されている花壇に、1年を通して花を咲かせることにより、ゴミのポイ捨て場所になることを防止し、通行する人や地域住民に癒しを与え、地域の環境美化に寄与する。
【効果】	・年間を通して、地域住民や通行する人達に、季節感を感じてもらえる。 ・維持管理しないと、ゴミ捨て場所になりがちな道路花壇をなくすることになる。

2 実施期間

令和 6 年 5 月 1 日 ～ 令和 7 年 3 月 26 日
(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

笠岡市吉田 山手地区（吉田小裏）、田平地区（田平大師花壇）、尾坂地区（尾坂バス停近く）

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 86 人（ア＋イ）
（内訳）企画運営に関わる人数： 6 人（ア）
その他関係人数（当日参加者等）： 80 人（イ）
○団 体： （団体名） 山手地区ふれあい花壇の会， （団体名） 尾坂白寿会
（団体名） 田平大師花壇グループ， （団体名）

5 実施内容

吉田地区内3ヶ所の道路花壇で、年2～3回の花壇整備と花苗の植付けを行う。

6 予算額

121,000 円（うち交付金分 121,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第 1 6 号（第 5 条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	1
活動名	道路花壇の維持による環境美化活動

【収入の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	121,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	121,000	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	6,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	115,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	121,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
耕運機持込作業謝礼	6,000	1,500円×4回
計	6,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
飲料費	8,400	作業参加者飲料代 100円×12人×7回
原材料費	99,000	花苗 66円×1,000ポット + 110円×300株
消耗品費	5,000	作業用手袋 250円×20双
燃料費	2,000	草刈機、耕運機燃料

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	115,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディーカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。

様式第15号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）活動計画書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	吉田マッププロジェクト

1 目的、活動実施により期待される効果

【目的】	令和5年度吉田公民館と協働して開設した吉田マップ講座の成果である「てくてく吉田さんぽマップ」を地域住民に配付し、吉田のいいところを知ってもらう。 又、マップを使って、いいところをめぐるウォークラリーを開催する。
【効果】	吉田地区のいいところを、地区住民にあらためて知ってもらい、訪ねてもらうことで、いま住んでいる吉田にもっと愛着をもってもらえることができる。

2 実施期間

令和 6 年 4 月 10 日 ～ 令和 7 年 3 月 26 日

(計画期間 年中 年目)

3 実施場所

笠岡市吉田地区内

4 活動に関わる人数・団体（予定）

○総人数： 63 人（ア＋イ）

（内訳）企画運営に関わる人数： 3 人（ア）

その他関係人数（当日参加者等）： 60 人（イ）

○団 体： （団体名） 吉田地区まちづくり協議会， （団体名） 吉田公民館

（団体名） ， （団体名）

5 実施内容

令和5年度に完成させた「てくてく吉田さんぽマップ」を、地区内全戸（約1000戸）に配付する。
また、マップづくりのきっかけを作ってくれた、新吉中学生、吉田小児童に配付して、地域学の学習に活用してもらう。
又、「てくてく吉田さんぽマップ」を使ったウォークラリーを開催する。ウォークラリーの企画・運営には、新吉中学生に総合学習のプロジェクトとして取り組んでもらう。

6 予算額

54,000 円（うち交付金分 54,000 円）

※ 複数年活動の場合は、実施内容及び予算額の欄に、計画期間中の年度ごとの内容がわかるように記載すること。

様式第16号（第5条関係）

令和 6 年度笠岡市魅力あるまちづくり交付金（活動交付金）収支予算書

協議会名 吉田地区まちづくり協議会

活動No	2
活動名	吉田マッププロジェクト

【収入の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
市交付金	54,000	当該年度分
		前年度からの繰越分
その他収入	0	
計	54,000	

【支出の部】 (単位：円)

費 目	金 額	摘 要
報償費	12,000	別紙《収支予算内訳書》のとおり
旅費	0	〃
需用費	42,000	〃
役務費	0	〃
使用料及び賃借料	0	〃
備品購入費	0	〃
	0	〃
	0	〃
計	54,000	

※ 収入及び支出の区分欄は、適宜変更して使用すること。

《収支予算内訳書 1》

報償費

内 容	金 額	積 算
記入例) 講師謝礼	50,000	10,000円×5回
講師謝礼	12,000	3,000円×4人 (ウォークラリー講師)
計	12,000	

旅費

内 容	金 額	積 算
記入例) アドバイザー旅費	15,400	岡山駅⇄笠岡駅 1,540円×10回=15,400円
計	0	

需用費

内 容	金 額	積 算
記入例) 飲料費	8,000	作業用お茶代100円×20人×4回
飲料費	10,000	100円×100本 (会議: 10人×5回、ウォークラリー: 参加者50人)
印刷費	20,000	マップ印刷 1,500部
印刷費	5,000	コピー機使用料 5円×1,000枚
印刷費	7,000	ウォークラリーチラシ印刷 1,500部

《収支予算内訳書 2》

需用費

内 容	金 額	積 算
計	42,000	

役務費

内 容	金 額	積 算
記入例) ハガキ代	5,040	連絡用ハガキ63円×20人×4回=5,040円
計	0	

《収支予算内訳書 3》

使用料及び賃借料

内 容	金 額	積 算
記入例) 集会所使用料	5,000	500円×10回=5,000円
計	0	

備品購入費

内 容	金 額	積 算
記入例) 動画撮影用ハンディカメラ	31,818	ソニー デジタルビデオカメラ 31,818円×1台
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

0

内 容	金 額	積 算
計	0	

※欄が足りない場合は協働のまちづくり課へ連絡ください。